

令和5年9月27日

令和5年第3回神奈川県議会定例会

# 総務政策常任委員会報告資料

( その 2 )

政 策 局



# 株式会社湘南国際村協会

## 令和5年度事業概要報告書

### 1 設立及びその目的

- (1) 設立年月日 平成元年10月17日
- (2) 設立の目的 緑陰滞在型の国際交流拠点「湘南国際村」の中核施設である湘南国際村センターの運営を行うとともに、村全体の管理、運営等を行うことを目的として設立

### 2 所在地

三浦郡葉山町上山口字間門1560番39

### 3 資本金

- (1) 設立当時 25億円
- |     |   |           |            |
|-----|---|-----------|------------|
| 出資者 | [ | 神奈川県      | 10億円       |
|     |   | 横須賀市及び葉山町 | 4,400万円    |
|     |   | 日本政策投資銀行  | 4億円        |
|     |   | 民間        | 10億5,600万円 |
- (2) 令和5年3月末日現在 4億9,400万円
- |     |   |           |              |
|-----|---|-----------|--------------|
| 出資者 | [ | 神奈川県      | 2億155万2,000円 |
|     |   | 横須賀市及び葉山町 | 869万4,400円   |
|     |   | 日本政策投資銀行  | 7,904万円      |
|     |   | 民間        | 2億471万3,600円 |

### 4 令和5年度事業計画及び予算等に関する書類

別添資料のとおり

### 5 令和4年度事業報告及び財務諸表

別添資料のとおり

### 6 役員 (令和5年9月1日現在)

代表取締役社長	出口 満 美			
常務取締役	本 松 康 幸			
取 締 役	田 邊 親 司	井 上 透	小 野 淳	三 浦 一 央
	近 澤 誠	飛 弾 裕 里 子	中 村 宗 之	及 川 隆 司
	青 山 雅 巳			
監 査 役	佐 藤 仁 紀	根 田 拓 哉	菊 池 匡 文	杵 渕 哲 也



資料

2 0 2 3 年 度  
事 業 計 画

自 2023 年 4 月 1 日

至 2024 年 3 月 31 日

株式会社 湘南国際村協会

## 2023年度 事業計画

### 【 2023年度の経営目標 】

2023年度の4月及び5月は、引き続き神奈川県による新型コロナウイルス感染症に係る宿泊療養施設としての借上げが予定されています。県による借上げが4年目を迎えますが、感染症法上の扱いが2類から5類へ5月8日から移行されることとなるなど、新型コロナウイルスを取り巻く状況も変化してきました。そこで、こうした社会経済情勢の変化を踏まえ、6月からは通常営業に戻ることを前提に、「3つの経営方針」と「5つの取組」により事業活動を展開します。

コロナ禍により変化した社会経済状況の中でも、「選ばれる施設」としての魅力を高め、これまで湘南国際村センターをご利用いただいていた企業研修や、学会等の顧客ニーズに応えつつ、新たな顧客を獲得する取組を進め、事業の不断の見直しと改善を行うことにより、営業収益504百万円、営業利益10百万円を目指します。

### < 3つの経営方針 >

#### 1 県主導第三セクターとしての社会的責任と役割を果たす。

湘南国際村基本計画における学術研究、人材育成、技術交流、・文化交流という目的に基づく中核施設（湘南国際村センター）の管理運営を担う県主導第三セクターとして、その社会的責任と役割を着実に果たす。

#### 2 ウイズコロナの状況下で「選ばれる施設」とする。

顧客カテゴリー毎にきめ細かく提供サービスや施設設備の魅力をアピールし、ウィズコロナの状況下で「選ばれる施設」としての魅力を高める。

#### 3 中長期的な観点からの経営基盤の強化を図る。

安定的な売上の確保とコスト管理を徹底するとともに、計画的な改修や推進体制の充実により快適で安心してご利用いただけるサービスと施設設備を提供し、中長期的な観点からの経営基盤の強化を図る。

### < 5つの取組 >

- 1 強み情報発信強化でウィズコロナ状況下のニーズを獲得する取組
- 2 営業力強化でウィズコロナ状況下のニーズを獲得する取組
- 3 既存顧客・休眠顧客の需要取りこぼしを最小化する取組
- 4 企業研修以外の強化で下期売上を獲得強化する取組
- 5 神奈川県及び関係機関との事業連携を図る取組

## **1 強み情報発信強化でウイズコロナ状況下のニーズを獲得する取組**

- ・ 東京 23 区を中心としたネット広告の実施で新規顧客を獲得するため、ランディングページを作成し、時期毎の魅力をアピールします。
- ・ 自社サイトの改善による情報発信強化で新規顧客を獲得するため、競合優位性や新たな施設充実ポイントのアピールを強化します。
- ・ 自社サイトに国際会議獲得のための英語コンテンツをさらに充実させて掲載し、ハイブリッド会議が実施できる魅力等をアピールします。
- ・ 国際会議場としての施設認知度アップを図るため、国際会議情報掲載サイト等への情報を発信します。
- ・ 自社サイトに周辺観光案内など個人客向けコンテンツを充実させて掲載し、個人客の取り込みを強化します。

## **2 営業力強化でウイズコロナ状況下のニーズを獲得する取組**

- ・ 神奈川県内の企業を対象に新規顧客を獲得するため、神奈川県の関係部署からの声掛けもいただきつつ、上場企業を中心に直接訪問営業を強化します。
- ・ 既存の企業顧客に対して、研修を担当する部署である人事部以外の利用を促進し、人事部から営業等への紹介を促進します。
- ・ セミナー会社へのセールスを促進し、企業への直接営業だけでなくセミナー会社からの受注拡大も目指して営業に取り組みます。

## **3 既存顧客・休眠顧客の需要取りこぼしを最小化する取組**

- ・ 既存顧客への電話・メールでの密な連絡だけでなく、オンラインの機能を活用し、迅速に需要を獲得します。
- ・ 休眠顧客への電話・メール・訪問での再営業実施による掘り起こしに取り組みます。

## **4 企業研修以外の強化で下期売上を獲得強化する取組**

- ・ ワークेशन合宿等の利用を促進するため、アクアクラブ、ポケットラウンジ、グリーンパーク、周辺アクティビティの情報も発信します。
- ・ 個人客の獲得強化で下期売上を積み上げるため、周辺観光施設との連携を強化し鎌倉や横須賀の宿泊ニーズを取り込みます。

- ・ 国際 MICE エキスポ/JNTO（日本政府観光局）実施商談会など国内開催の国際会議商談会に出展します。
- ・ 国際会議・学会等への2～3年前からのセールスの拡充するため、複数日程確保など仮予約の柔軟な対応で早期予約を確保します。

## 5 神奈川県及び関係機関との事業連携を図る取組

- ・ 大学や研究機関、関係団体などの様々なネットワークを活用して、神奈川県が取り組む国際会議誘致などの新規顧客の獲得策の協力を得て、売上向上を図ります。
- ・ 国際会議等獲得のため、横浜観光コンベンションビューローとの関係を再強化し、東京観光財団や各種エージェントとの新規関係を構築する中で、大型 MICE のスピンアウト会議獲得のため、国際村内の宿泊施設とも連携して PR していきます。

### < 宿泊療養施設としての具体的な取組 >

- 1 入退所管理、使用居室管理、安否確認等の現地本部業務の一端を担います。
- 2 療養者への食事の提供、配膳、消毒、清掃、廃棄物の回収等、生活支援業務を実施します。
- 3 施設運営に携わる関係者が一体となって業務に当たれるように、県側スタッフと当社及び当社の委託事業者との間の連携調整業務を行います。



## 2023 年度事業計画収支

(単位:百万円、人)

参考

項目		2023 年度		2022 年度 決算
		計画①	計画②	
宿 泊 人 数		<b>17,000</b>	13,700	0
営業 収益	宿 泊 収 入	<b>153</b>	123	—
	飲 食 収 入	<b>105</b>	86	1
	研 修 室 収 入	<b>47</b>	37	0
	外 部 手 配 収 入	<b>6</b>	4	6
	旅 行 業 収 入	<b>2</b>	2	23
	そ の 他 収 入	<b>191</b>	190	774
	合 計	<b>504</b>	444	804
営業 費用	運 営 業 務 委 託 費	<b>148</b>	131	237
	外 部 手 配 費 用	<b>3</b>	2	3
	旅 行 業 原 価	<b>2</b>	2	22
	そ の 他 収 入 原 価	<b>4</b>	3	0
	環 境 維 持 費	<b>0</b>	0	0
	管 理 組 合 負 担 金	<b>109</b>	109	93
	人 件 費	<b>108</b>	108	102
	減 価 償 却 費	<b>62</b>	62	58
	修 繕 費	<b>9</b>	9	21
	そ の 他 共 通 費	<b>47</b>	45	65
	合 計	<b>493</b>	473	601
営 業 利 益		<b>10</b>	△30	202
営業 外	営 業 外 収 益	<b>0</b>	0	0
	営 業 外 費 用	<b>4</b>	4	4
経 常 利 益		<b>6</b>	△34	198
特 別 利 益		—	—	—
特 別 損 失		<b>1</b>	1	18
税 引 前 当 期 純 利 益		<b>5</b>	△35	180
法 人 税 及 び 地 方 税		<b>0</b>	0	19
当 期 純 利 益		<b>5</b>	△35	160

- (注) 1 計画①、②とも5月末まで宿泊療養施設の借上げを見込んでおります。  
 2 計画①は客室利用回復率を65%、計画②は客室利用回復率を50%とした場合です。  
 客室利用回復率: コロナ前の客室利用実績に対する利用室数の割合  
 3 四捨五入表示のため、一部縦合計は合致していません。



第 3 4 期  
事 業 報 告

自 2022 年 4 月 1 日  
至 2023 年 3 月 31 日

株式会社 湘南国際村協会

# 第 34 期 事業報告 (2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで)

## 1 会社の現況に関する事項

### (1) 事業の経過及びその結果

#### ア 神奈川県による宿泊療養施設としての借上げ

2020 年 4 月 7 日に国から神奈川県を含む 7 都県に 1 回目の「緊急事態宣言」が発令されて以来、新型コロナウイルス感染症の影響は全国的に及びました。新型コロナウイルス感染症に係る「宿泊療養」実施の趣旨である医療現場の負担軽減に協力するため、当社では神奈川県 の要請に基づき軽症者等の受入りに同意したことから、2020 年度、2021 年度に引き続き湘南国際村センターは「宿泊療養施設」として利用されてきました。また、3 月の 1 か月間は休館し、館内の法定点検・改修工事を実施いたしました。

なお、新型コロナウイルスの感染症法上の扱いが、2023 年 5 月 8 日より 2 類から 5 類に移行されたことに伴い、神奈川県による当センターの借上げは、5 月末までで終了することとなりました。

#### イ 経営概況

営業収益は、神奈川県から支払われた施設の借上げ料及び委託料が枢要を占め、803 百万円となりました。

営業費用は、計画修繕工事を含めて 601 百万円となり、この結果、営業利益は、202 百万円、当期純利益は、160 百万円となりました。

なお、年度を通して通常営業を行えていないため、宿泊者数にはカウントされないものの、宿泊療養施設における療養者 1,040 人、延べ人数にして 6,232 人（療養者数に泊数を乗じた数の合計）を受け入れました。

#### ウ 宿泊療養施設としての借上げに伴う運營業務

神奈川県との契約により、当社では客室及び研修室の貸し出しに加えて、現地本部機能の一部（入退所管理、使用居室管理、安否確認等）と生活支援業務を受託しており、宿泊療養施設運営のサポート業務を実施しました。

##### (ア) 宿泊療養施設の運營業務及び運営に係る関係者間の連絡調整

- ・ 宿泊療養施設の運用変更等について、県担当部署と打合せを行いました。
- ・ 神奈川県健康医療危機対策本部長と意見交換を行いました。
- ・ 入退所管理（24 時間対応）や、使用居室管理、安否確認等を実施しました。
- ・ 県委託の現地本部スタッフと、当社及び当社の委託事業者との間の連絡調整業務をしました。

##### (イ) 療養者への飲食の提供及び生活支援業務

- ・ 療養者への飲食提供及び生活支援業務を委託事業者とともに実施しました。

##### (ウ) 宿泊療養施設の運営に必要な物品提供

- ・ 県の要請に応じて、各種物品・消耗品を購入又は貸し出しました。

##### (エ) 施設・設備の適切な維持管理

- ・ 委託事業者とともに空調・電気等の設備の管理・点検、故障対応、客室設備等の不具合対応、故障備品の交換などを実施しました。

(オ) その他、施設運営に必要な業務

- ・ ゾーニングのルール順守状況の確認、療養者向け館内放送の実施（英語放送も社員が吹き込み）、災害時対応や警備体制の整備に向けたサポートをしました。

エ 本年度事業計画の「6つの取組」ごとの通常営業再開に向けた業務

本年度の事業計画において掲げた「6つの取組」による通常営業再開に向けた業務を次のとおり行いました。

(ア) 顧客カテゴリ毎に対応するきめ細かな営業戦略の取組

- ・ 売上の約半数を占める企業利用を促進するため、営業再開に向けて、企業の人事企画担当者に利用されているポータルサイトにウェブ広告、リスティング広告、ディスプレイ広告等を掲載します。
- ・ 売上の約7割を占めるリピーター顧客に対して、宿泊型研修の再開意思のヒアリングや、開催時に施設に求める対応などのアンケートを行いました。また、3月には、6月以降の再開目途がたったため、リピーター顧客を中心とする営業活動を進めています。
- ・ 客室のシングルユースの利用拡大など、懸念される売上の減少に対応するため、国の資金の導入実績や、国際会議等の開催実績、大学の研究者リストなど、新規の顧客となる可能性のあるデータを整理し、ダイレクトメールなどにより新規受注に向けた取組を強化しました。
- ・ 過去にご利用いただきながら現在ご利用のない休眠顧客をリスト化し、施設のリニューアルやサービスの向上など魅力ある特色を発信し、改めてご利用いただけるよう働きかけました。
- ・ 日程や金額などの理由で不成約となった顧客に対して、施設・サービス面での魅力ある特色をきめ細かくお伝えし、改めてご利用いただけるよう働きかけました。

(イ) 施設・設備の魅力アップに向けた新たな取組

- ・ 基幹通信回線を3回線に増設し、施設内通信機器を最新のスペックに更新するとともに、国際会議場ではハイブリッド会議にも活用が期待できるデジタル機材に入れ替え、インターネットの利用環境を強化しました。
- ・ ユニットバスなどの更新を進め、客室の機能向上を図りました。
- ・ 客室フロアにある共用スペースだったポケットラウンジを、マッサージルームとトレーニングルームへ改装し、研修のオンオフの切り替えを可能とし、研修や会議に集中するとともに、研修などを通じた仲間づくりに役立てられる空間を創出しました。
- ・ 顧客ニーズに応じた快適な施設環境を提供するため、中央監視システムなど、施設・設備の経年劣化に対応した更新・補修を実施しました。

(ウ) 提供サービスの魅力アップに向けた新たな取組

- ・ 新採用研修などにおける仲間づくりや、研修や会議の魅力づくりのための活動を要望される顧客向けに、提案型のアクティビティ（スポ GOMI、謎解きイベント、スタンプラリー、フィットネス等）を提供する準備をしました。
- ・ 営業再開に向けて、カフェテリア・オークの夏メニューの開発を行っています。今後は、研修や会議のご利用が多いことから、集中力のアップや疲労回復などの機能面の効果をわかりやすくお伝えするため、効能表示を行います。

- (エ) 湘南国際村センターの魅力と強みを伝える新たな取組
- ・ 経営コンサルタントのアドバイスを受け、営業再開に向けて企業人事担当者向けポータルサイトへ広告を掲載します。
  - ・ 営業再開に向けて、湘南国際村センターの魅力をアピールするランディングページを新たにインターネットに掲載します。
  - ・ 営業再開に向けて、インターネットの検索サイトを活用したリスティング広告やディスプレイ広告を新たに実施します。
  - ・ 新型コロナ対策を実施したレストランや客室タイプ別に海と山のイメージで改修した客室、研修室への可動壁の導入や網戸の設置などの魅力ある画像をインターネット上で配信し閲覧できるバーチャル・ビューイングをホームページ上に開設する準備を進めています。
  - ・ 施設の利用を検討する際に参考となるよう、既に利用された「お客様の声」を紹介するパンフレットを作成しました。
- (オ) 経営基盤を強化する取組
- ・ 原材料や人件費が高騰する中、経営を維持していくため、来年度から適用する改定施設利用料金を策定しました。
  - ・ 施設の快適性を確保しながら、電気・ガス・水道の使用量を点検し、コスト管理を徹底しました。
  - ・ 毎月の経営会議（12回）及び必要に応じ事業推進会議を開催し、社内のコミュニケーションの強化と意思統一を図り、経営課題の解決を図りました。
  - ・ 営業再開に向け、オンラインによる個別英語研修を実施します。
- (カ) 神奈川県および関係機関との事業連携を図る取組
- ・ 神奈川県立保健福祉大学と連携し、開発した横須賀野菜などの地元の食材による健康志向のメニューを営業再開後にレストラン桂で提供する調整をしています。
  - ・ 経営コンサルタントのアドバイスを受けて、2023年度事業計画案を取りまとめました。

#### オ 計画修繕工事等

快適で安全な施設環境を維持するため、計画修繕工事として、更新期を迎えた各種設備の更新（客室ユニットバス、ラウンジ等の内装・カーペット、中央監視設備更新、アクア天井改修、冷却塔オーバーホール、国際会議場操作ワゴン改修）を実施しました。

#### カ 事業の実績

##### (ア) 宿泊者数及び稼働率の状況

###### 【宿泊者数及び客室稼働率】

	2021年度	2022年度
宿泊者数	0名	0名
客室稼働率	－%	－%
営業日数	0日	0日

##### (イ) 売上実績

飲食売上は、819千円（前年比4.6%）、その他売上では、802,885千円（前年比130.1%）となりました。

## 【宿泊、飲食及びその他の売上高】

(単位：千円)

	2021 年度	2022 年度
宿 泊 売 上	—	—
飲 食 売 上	17,804	819
そ の 他 売 上	617,093	802,885
合 計	634,898	803,705

## (ウ) 営業費用の状況

営業費用は売上原価 374,213 千円（前年比 146.8%）、販売費及び一般管理費 226,927 千円（前年比 80.2%）の合計 601,141 千円（前年比 111.8%）であり、主な内訳は、運營業務委託費が 249,808 千円（前年比 180.8%）、人件費 101,900 千円（前年比 104.4%）、水道光熱費 31,845 千円（前年比 153.6%）となりました。

## 【営業費用】

(単位：千円)

	2021 年度	2022 年度
売 上 原 価	254,802	374,213
運營業務委託費	138,127	249,808
販売費及び一般管理費	282,682	226,927
人 件 費	97,567	101,900
水 道 光 熱 費	20,720	31,845
合 計	537,485	601,141

## (エ) 収支の状況

以上の結果、営業利益は 202,563 千円となり、これに利息等の営業外損益を加減した経常利益は 198,198 千円となりました。

この経常利益から特別損失、法人税・住民税及び事業税を差し引いた当期純利益は 160,542 千円となりました。

## (2) 設備投資の状況

設備投資の総額は、108,006 千円で、その主な内訳は「中央監視設備更新」42,096 千円、「客室ユニットバス（22 室）更新」34,311 千円等になります。

## (3) 対処すべき課題

当センターは、2020 年度、2021 年度に続き 2022 年度も神奈川県からの協力要請を受け、県が設置する新型コロナウイルス感染症の軽症者等の宿泊療養施設として利用されてきました。新型コロナウイルスの感染症法上の扱いが、2023 年 5 月 8 日より 2 類から 5 類に移行することに伴い、神奈川県による当センターの借上げは 5 月末までで終了し、6 月 1 日より通常営業を再開することとなりました。

2023 年度は事業計画における「3 つの経営方針」と「5 つの取組」を進めるとともに、第五次経営計画の初年度として、「湘南国際村基本計画を踏まえた事業の展開」、「安定的な売上の確保」、「コスト管理の徹底」、「計画的な修繕の実施・新たな修繕計画の準備」という経営課題に取り組みます。また、2023 年度の業績指標であるリピーター率 50%、ウェブ広告からの成約件数 50 件、休眠顧客からの成約件数 37 件の達成に向け努力を続けます。さらに、オンラインの活用などウイズコロナ期に対応した利用方法の提案を行うことにより、安心して利用できる研修・会議の会場を求める顧客の誘致を進めます。

#### (4) 財産及び損益の状況の推移

当社の営業成績及び財産の状況は、以下のとおり推移しております。

区 分	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
売 上 高	550,036 千円	530,670 千円	634,898 千円	803,705 千円
営 業 利 益	57,817 千円	71,988 千円	97,413 千円	202,563 千円
経 常 利 益	53,696 千円	67,638 千円	92,826 千円	198,198 千円
当 期 純 利 益	51,310 千円	52,862 千円	58,075 千円	160,542 千円
1 株 当 り 当 期 純 利 益	1,026 円 20 銭	1,057 円 24 銭	1,161 円 50 銭	3,210 円 85 銭
総 資 産 額	1,067,896 千円	1,189,380 千円	1,370,816 千円	1,404,651 千円
純 資 産 額	618,706 千円	671,568 千円	729,643 千円	890,186 千円

(5) 主要な事業内容 宿泊飲食研修施設の経営

(6) 事業所の内容 湘南国際村センター（神奈川県三浦郡葉山町上山口 1560-39）

(7) 従業員の状況

性 別	人 員	平均年齢	平均勤続年数
男 子	5 名	46.4 歳	15.2 年
女 子	5 名	49.0 歳	14.1 年
合 計（又は平均）	10 名	47.7 歳	14.6 年

(8) 主要な借入先及び借入額

借 入 先	借入額
（公財）かながわ国際交流財団	344,250 千円

## 2 会社の株式に関する事項

- ① 発行可能株式総数 50,000 株（普通株式）
- ② 発行済株式総数 50,000 株（普通株式）
- ③ 当期末株主 151 名
- ④ 大株主

大 株 主 名	所有株式数	議決権比率
神奈川県	20,400 株	40.8 %
(株)日本政策投資銀行	8,000 株	16.0 %
三井不動産(株)	8,000 株	16.0 %



### 3 会社役員に関する事項

#### (1) 取締役の状況

役職名	氏名	担当又は主な職業	当事業年度開催の取締役会(5回)出席状況
代表取締役社長	國重正雄		取締役会 5回
常務取締役	出口満美		取締役会 4回
取締役(非常勤)	高安賢昌	神奈川県 政策局 自治振興部長	取締役会 5回
〃 ( 〃 )	井上透	横須賀市 市長室長	取締役会 5回
〃 ( 〃 )	小野淳	葉山町 副町長	取締役会 5回
〃 ( 〃 )	山崎智之	(株)日本政策投資銀行 都市開発部 次長	取締役会 5回
〃 ( 〃 )	森隆史	三井不動産(株) 開発企画部 事務管理グループ長	取締役会 5回
〃 ( 〃 )	飛弾裕里子	(株)横浜銀行 県庁支店長	取締役会 5回
〃 ( 〃 )	中村宗之	東京ガスネットワーク(株) 神奈川支社 副支社長	取締役会 4回
〃 ( 〃 )	及川隆司	東京電力パワーグリッド(株) 神奈川総支社 副総支社長	取締役会 5回
〃 ( 〃 )	青山雅巳	富士フイルムビジネスイノベーション(株) 神奈川支社 営業統括二部 公共文教営業部長	取締役会 5回

- (注) 1 非常勤取締役9名は社外取締役であります。
- 2 2022年6月22日開催の定時株主総会において、中村宗之氏、出口満美氏は取締役に新たに選任され就任いたしました。出席状況には就任後の当事業年度中の取締役会(4回)の出席状況を記載しております。
- 3 主な職業は就任時のものです。

#### (2) 監査役の状況

役職名	氏名	担当又は主な職業	当事業年度開催の取締役会(5回)、監査役会(6回)への出席状況
常勤監査役	佐藤仁紀	公認会計士、税理士	取締役会 5回 監査役会 6回
監査役(非常勤)	根田拓哉	(株)みずほ銀行 横浜法人第一部 部長	取締役会 4回 監査役会 5回
〃 ( 〃 )	菊池匡文	横須賀商工会議所 専務理事	取締役会 3回 監査役会 3回
〃 ( 〃 )	杵渕哲也	かながわ信用金庫 専務理事	取締役会 3回 監査役会 3回

- (注) 1 非常勤監査役3名は社外監査役であります。
- 2 2022年6月22日開催の定時株主総会において、杵渕哲也氏は監査役に新たに選任され就任いたしました。出席状況には就任後の当事業年度中の取締役会(4回)及び監査役会(4回)の出席状況を記載しております。
- 3 主な職業は就任時のものです。

#### (3) 取締役及び監査役の報酬等の総額

取締役 3名 1,274 万円  
監査役 1名 459 万円

#### 4 業務の適正を確保するための体制等の整備についての取組状況

当社が業務の適正を確保するための体制として、2006年5月24日開催の第80回取締役会において取り決めた「内部統制システムの基本方針」に関し、全社員がコンプライアンスマニュアルを常に電子上で閲覧できる体制をとり、その旨を周知するとともに、留意すべき事項などは、社内定例会議において意見交換を行い、社員の認識を高めました。

#### 5 区分所有者（神奈川県）と連携した湘南国際村センターの管理

神奈川県と当社は、湘南国際村の中核施設であり、かつ、「民間事業者の能力の活用による特定施設の整備の促進に関する臨時措置法」の国際交流施設である湘南国際村センターの良好な環境を確保し、運営を行うことを目的に、湘南国際村センターの管理及び使用に関する事項等について、「建物の区分所有等に関する法律」第30条に基づき、「湘南国際村センター管理組合規約」を定め、区分所有者として「湘南国際村センター管理組合」を組織しています。

当該管理組合が行う湘南国際村センターの管理運営及び修繕に要する経費は、区分所有者が管理規約に従い負担しています。

また、当該管理組合の事務は、管理規約に基づき、当社が行っております。

#### 6 災害時の備え

##### (1) 災害のための備え

次の設備・備蓄品が使用可能であることを確認しました。

- ・ 非常用照明のための非常用発電機設置（備蓄燃料での最大稼働時間 3 時間）
- ・ 受水槽80m<sup>3</sup>、災害時用の蛇口あり
- ・ 水泳用室内プール110m<sup>3</sup>、池120m<sup>3</sup>、飲料とするための浄水装置1台
- ・ 利用客及び従業員の急場をしのぐことを目的とした、長期保存可能な食糧等の備蓄品
- ・ 業務用の食材を必要見込量より余裕をもって仕入れ・保管

##### (2) 区分所有者と連携した「湘南国際村センター管理組合」実施業務

- ① 災害、事故発生時等の緊急参集体制の整備
- ② 防火管理体制（消防法第8条）の整備

防火管理者（株湘南国際村協会選出理事（営業課長））のもと、次の業務を行いました。

- ・ 施設全体の一体的な消防計画を点検・整備
- ・ 消防用設備の点検整備を委託して実施（消防設備点検：9・3月、特定防火対象物定期点検：3月）
- ・ 火災予防上の自主検査及び運營業務受託者が利用するスペースの火気の使用又は取扱に関する監督等

（注）本事業報告の記載金額は、表示単位未満を切り捨てております。

第 3 4 期  
計 算 書 類

自 2022 年 4 月 1 日  
至 2023 年 3 月 31 日

株式会社 湘南国際村協会

第34期 貸借対照表

(2023年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>&lt; 流動資産 &gt;</b>	<b>&lt; 536,709 &gt;</b>	<b>&lt; 流動負債 &gt;</b>	<b>&lt; 176,243 &gt;</b>
現金及び預金	511,418	1年以内返済長期借入金	38,250
売掛金	7,871	営業未払金	10,218
商品	25	未払金	88,259
貯蔵品	1,193	未払費用	1,011
未収入金	13,339	前受金	88
前渡金	1,649	預り金	911
前払費用	1,210	未払消費税	11,982
		未払法人税等	22,041
		賞与引当金	3,480
<b>&lt; 固定資産 &gt;</b>	<b>&lt; 867,942 &gt;</b>	<b>&lt; 固定負債 &gt;</b>	<b>&lt; 338,222 &gt;</b>
(有形固定資産)	(843,526)	長期借入金	306,000
建物	814,372	退職給付引当金	32,222
構築物	97		
車両運搬具	0	負債合計	514,465
什器器具備品	29,056	純資産の部	
(無形固定資産)	(20,692)	<b>&lt; 株主資本 &gt;</b>	<b>&lt; 890,186 &gt;</b>
ソフトウェア	20,692	資本金	494,000
(投資その他の資産)	(3,724)	資本剰余金	(238)
営業保証金	3,000	その他資本剰余金	238
その他	724	利益剰余金	(395,948)
		その他利益剰余金	395,948
		純資産合計	890,186
資産合計	1,404,651	負債・純資産合計	1,404,651

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てております。

また、切捨て表示の為、一部縦合計は合致していません。

第34期 損益計算書  
(2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		803,705
宿 泊 収 入	—	
飲 食 収 入	819	
そ の 他	802,885	
売 上 原 価		374,213
売 上 総 利 益		429,491
販売費および一般管理費		226,927
営 業 利 益		202,563
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	1	
雑 収 入	0	1
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	4,366	4,366
経 常 利 益		198,198
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	18,150	
そ の 他 特 別 損 失	90	18,240
税 引 前 当 期 純 利 益		179,957
法人税、住民税及び事業税		19,415
当 期 純 利 益		160,542

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てております。

また、切捨て表示の為、一部縦合計は合致していません。

株主資本等変動計算書  
(2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位：千円)

	株 主 資 本				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	
		その他資本剰余金	その他利益剰余金		
当 期 首 残 高	494,000	238	235,405	729,643	729,643
当 期 変 動 額					
当期純利益			160,542	160,542	160,542
当期変動額合計	—	—	160,542	160,542	160,542
当 期 末 残 高	494,000	238	395,948	890,186	890,186

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てております。

また、切捨て表示の為、一部縦合計は合致していません。

# 個別注記表

## 1 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品

最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）

### (2) 固定資産の減価償却の方法

#### ① 有形固定資産（リース資産を除く）

定額法によっております。なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

また、建物については、平成10年度の税制改正前の耐用年数を継続適用しております。

#### ② 無形固定資産

定額法によっております。なお、耐用年数については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。ただし、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

### (3) 引当金の計上基準

#### ① 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出にあてるため、将来の支給見込額のうち、当期の負担額を計上しております。

#### ② 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき計上しております。

### (4) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

税抜方式を採用しております。

## 2 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額 2,601,523 千円

## 3 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末発行済株式総数 50,000 株（普通株式）

## 4 金融商品に関する注記

### (1) 金融商品の状況に関する事項

#### ① 金融商品に対する取組方針

当社は、資金運用については短期的な預金に限定しております。

#### ② 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

営業債権である売掛金は、顧客の信用リスクに晒されています。当該リスクに関しては、売掛の対象とする顧客をその信用力からあらかじめ限定するとともに売掛期限も原則1か月以内とするなどの社内ルールを定め管理しております。

未収入金は、1年以内の回収期日です。

営業債務である営業未払金、未払金は、1年以内の支払期日です。

1年以内返済長期借入金及び長期借入金は、適時に資金繰計画を作成、更新することにより、流動性リスクを管理しております。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

2023年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりです。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含まれておりません。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時 価	差 額
① 現金及び預金	511,418	511,418	—
② 未収入金	13,339	13,339	—
③ 営業未払金、未払金	(98,478)	(98,478)	—
④ 1年以内返済長期借入金 長期借入金	(344,250)	(344,250)	—

(注) 負債に計上されているものは ( ) で表示しております。

① 現金及び預金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

② 未収入金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

③ 営業未払金、未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

④ 1年以内返済長期借入金、長期借入金

元利金の合計額を、新規に同様の借入を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しております。

## 5 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額 17,803円72銭

(2) 1株当たり当期純利益 3,210円85銭

## 6 湘南国際村センター管理組合との取引に関する注記

(単位：千円)

種 類	名 称	所在地	出資金	事業内容	議決権等の所有	管理組合との関係	取引の内容	取引金額
管理組合	湘南国際村センター管理組合	神奈川県三浦郡葉山町	—	湘南国際村センターの建物管理	注1	当社からの理事就任	・負担金の支払 ・事務局受託収入	93,077 26,798

(注) 区分所有者である神奈川県と当社より各々2名理事が就任

総会の議決に関しては、湘南国際村センター管理組合規約により、区分所有者全員の合意が必要となっております。



第 3 4 期

計算書類に係る附属明細書

自 2022 年 4 月 1 日

至 2023 年 3 月 31 日

株式会社 湘南国際村協会

## 1 有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位：千円)

区分	資産の種類	期首 帳簿価額	当期 増加額	当期 減少額	当期 償却額	期末 帳簿価額	減価償却 累計額	期末 取得原価
有形 固定 資産	建 物	768,966	94,478	2,416	46,655	814,372	2,337,750	3,152,122
	構 築 物	161	—	—	63	97	146,167	146,265
	車 両 運 搬 具	0	—	—	—	0	1,202	1,202
	什器器具備品	26,020	13,527	0	10,491	29,056	116,403	145,459
	計	795,147	108,006	2,416	57,210	843,526	2,601,523	3,445,050
無形 固定 資産	電 話 加 入 権	0	—	0	—	—		
	ソフトウエア	1,040	20,200	—	548	20,692		
	計	1,040	20,200	0	548	20,692		

(注) 1 記載金額は千円未満を切り捨てております。  
また、切捨て表示の為、一部縦合計は合致していません。

### 2 当期増加額の主な内訳

建 物	中央監視設備更新	42,096 千円
	客室ユニットバス(22室)更新	34,311 千円

## 2 引当金の明細

(単位：千円)

	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	3,744	3,480	3,744	—	3,480
退職給付引当金	35,756	3,673	7,207	—	32,222

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てております。

### 3 販売費及び一般管理費の明細

(単位：千円)

科 目	金 額	摘 要
役 員 報 酬	17,343	
従 業 員 給 与 手 当	60,625	
法 定 福 利 費	12,762	
福 利 厚 生 費	822	
退 職 金	76	
賞 与 引 当 金 繰 入	3,480	
退 職 給 付 費 用	3,673	
備 品 費	14,064	
消 耗 品 費	15,951	
賃 借 料	7,168	
保 険 料	2,134	
修 繕 費	21,264	
租 税 公 課	18,071	
減 価 償 却 費 ( 事 務 所 )	854	
旅 費 交 通 費	3,334	
通 信 費	674	
水 道 光 熱 費	31,845	
支 払 手 数 料	3,888	
宣 伝 広 告 費	1,633	
交 際 費	14	
会 議 費	12	
諸 会 費	750	
寄 付 金	10	
事 業 税 等	5,098	
雑 費	1,370	
合 計	226,927	

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てております。  
また、切捨て表示の為、合計は合致していません。